

平成 28 年度 第 2 回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

平成 29 年 3 月 31 日調製

1 日 時	平成 29 年 3 月 21 日 (火) 午後 2 時開会
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 音楽室兼集会室
3 出席委員	小林会長、藤田、秋山、関本、高橋、中川、高橋、坂田、原田、川上の各委員
4 欠席委員	柄澤委員
5 説明のための出席者	佐藤館長、佐藤事務長、諸橋主任
6 所管課	渡辺商工課長、近藤商工課職員
7 傍聴者	なし
8 報道機関	三条新聞社
9 議事内容	(1) 平成 28 年度活動状況報告について (2) 平成 29 年度活動方針案及び事業計画案について (3) その他
10 会議の経過及びその結果	
小林会長	これより第 1 回の運営審議会を開会します。 では最初に佐藤館長のあいさつをお願いします。
佐藤館長	年度末のお忙しい時期にお集まりいただき感謝申し上げます。私ども労福協がソレイユ三条の指定管理を受けて 3 年が経とうとしています。この間、運営審議会の皆さんからご審議をいただいて運営させてもらって来ていますが、確かに勤労青少年の絶対的な人数減、あるいはいろんなニーズの変化の中で運営自体は厳しい環境が続いているわけですけれども、この間、皆様からいろんなアドバイスをいただいて講座やイベント、あるいは周知の方法も取らせていただきまして、いくつか大きな成果も出ているなあと自負しているところです。きょうは第 2 回の審議会ということで、これまでの活動の報告と次年度の活動方針等を主要課題として審議していただくわけです。ぜひ活発なご意見でご審議していただくようによろしくをお願いします。
小林会長	きょうは次第にありますように議題が二つあります。一つは今年度の活動状況報告についてと来年度の活動方針案であります。 それではまず議題 1 の平成 28 年度の活動状況報告について事務局お願いします。
佐藤事務長	資料 (P 2 ~ P 7) に基づき説明。
小林会長	これから皆さんからご質問ご意見など伺っていきますが、ここも併せて 29 年度の活動方針と計画もやっていただいて、その後皆さんから 28 年度の報告と 29 年度の計画どこからでも構いませんので、ご意見ご質問をお願いすることにして引き続き説明をお願いします。

佐藤事務長	平成 29 年度方針案及び事業計画案（P 8～P 15）を説明。
小林会長	はい、ありがとうございます。後ろのアンケートは説明なしでよろしいか。 では、あらためて資料のアンケートもじっくりと眺めていただきながら質問、意見を 1 人一つくらいは集めていきたいと思っています。
藤田副会長	28 年度の実績では、人数は減っているものの 1 講座当たりの参加人数は増えているということで、内容が充実しているものと思っております。引き続き楽しい講座・サークルを開いてもらいたいと思っています。 私は、福祉推進者連絡協議会の会長という立場から話をさせていただきますが、今年度も大変多く参加いただきまして、バレーボールも 4 チーム、ソフトバレーもそれなりにチームが出てもらいまして総合体育館最後の大会ということもあり 150 人の参加で大変盛り上がりました。今年・来年と新しい体育館ができるまで栄体育館を予定していますが、引き続き盛り上げていきたいなあと思っております。講演会も碓井先生の講演が非常に楽しくてあっという間の時間でしたが職場の高まりにとっても勉強になりました。ボウリング大会も季節的に寒い時期で人数は 40 名と昨年よりは少なかったですが、多く参加いただきました。こういった形で福祉推進者の事業を行っているわけですが、参加する会社数はなかなか増えない状況にありますが、来年度も計画をして盛り上げたいと思っておりますので、この場をお借りして報告といたします。
関本委員	講座とか見ていると家庭料理ということで計画されていますが、今、本屋さんに行ってもテレビを見ても何を見てもラーメン特集が多くて、特に三条市というところが多いと思う訳ですが、家庭料理は家庭料理でいい講座だと思いますが、例えばお店の人から来てもらってラーメン講座などやると、会員増につながるのではないかと思います。今まではそういったイベント的なことはやられたことはありますか。
佐藤事務長	ラーメンに限定するのであれば、短期の講座やイベントのできるのかなと感じておりますが、現在の家庭料理講座は、若い女性を中心に栄養のバランスとか、普段家庭にあるような食材を使って作る人気の講座になっております。期間限定でそういった企画も話をしてみたいと思っております。
小林会長	ネタの一つとしてどうぞ。
中川委員	説明の中で学校との連携という話がありましたが、大変いいことだなあと聞いておりました。そこで例えば学生さんが講座を受けたいという希望があった場合は OK ですか。(はい) いいということであれば、社会に出る一步手前の学生にワードエクセルの講座を受けられますよと在学中に PR されればいいのかと思いました。
佐藤事務長	先ほども方針の中でも触れておりますが、卒業生にソレイユの講座案内を差し上げて、その上で参加を募りますが、まず知ってもらうことを目的として学

	校と連携していきます。
小林会長	三高生はよくここを利用していますので、わかってはいると思うけど彼らは卒業するとみんなどこかへ行くんですよね。
佐藤事務長	彼らは勉強しに来ているので、講座を受けたいとかの気持ちはないですね。
坂田委員	<p>そもそもの話になりますが、講座というのは 7 時からが多いのかな。うちの場合、早番は 6 時で終わりますが通常は 7 時ということもあるので、もう少し後ろにあってもいいのかなと思っているので、時間に関するアンケートなども入れてみてはどうかと思います。あと、27 ページを見ますと講座を知らなかったとか仕事や活動が忙しいという方が多いわけですが、そこでソレイユだよりも意見を反映していただいて見やすい感じにはなっていますが、もう少しお知らせするように見やすくできるのではないかと考えております。</p> <p>ヨガやピラティスの人気がすごく高くて、仕事をしていても健康に気遣っている傾向が強んだなということを感じました。いま体育文化センターが使えなくて行く場所に皆困っているんですよね。そんな中でこんな活動がみんなに知ってもらえたらいいなと考えております。</p>
佐藤事務長	<p>始まりの時間のアンケートというお話でしたが、先生との打ち合わせ会もありますし、講座の中でも話をする機会を持って先生とも相談しなるべく多くの意見で運営されるようにはしています。中でも早く始まるのは「料理」や「お菓子づくり」が 6 時半という時間ですが、これは先生とも相談したんですが、終わりが遅くなって閉館に間に合わないという状況が考えられるので、この時間帯になっております。しかしながら講座の中でどうしても遅い方がいいという意見が多数あれば見直しをしていきたいと考えています。</p> <p>確かにヨガやピラティスは希望者が多くてもう少しすると昨年もありましたが、キャンセル待ちが出ると思います。今年は先生と相談して、特にヨガについてはやり方を工夫すれば定員を多少超えても対応できるということを伺っておりますので、なるべく希望された方は受け入れたいと思います。</p>
小林会長	そのヨガとかピラティスって若い方が多いのですか、それとも年配の方が多いですか。
佐藤事務長	半々ぐらいだと記憶しています。
小林会長	定員オーバーは何よりですね。
佐藤事務長	そうですね。いま人気がある種目だと思っております。3 ページをご覧くださいますと、ピラティスは年間では定員 20 人のところ 31 人が登録されていますし、ヨガは定員 20 人のところ 26 人が登録されています。これは入れ替わりがあったことによる通算の人数です。
川上委員	平成 29 年度の活動方針 3 のアンケート分析を読みますと受講している方は安くて先生が良くて雰囲気がいいと好評な講座が多いのかなという感じの結

	<p>果が出ていますが、それに対して認知されていないということが実際に登録者数が増えないというところが一番の原因だという感じを受けている。当商工会のほうにも毎月情報のたよりをいただいておりますが、枚数的に 20 部程度だと会員さんに配るわけにもいかず、会館を訪れる人は少なく事務所に置いて 1 か月経つと捨てることになってしまうのが現状です。できれば下田商工会は 290 部くらいあれば足りるので、予算が許せば会報と一緒に配ることが可能になる。少しでも認知度を上げるために役立つのかなと思います。</p>
佐藤事務長	<p>活動方針にもありますように地元事業所との周知方法を検討していくという点で栄商工会も含めまして、予算的にはそれほどでもないのですがぜひ連携を取らせていただきたいと思っております。</p>
佐藤館長	<p>部数の関係は福祉推進者の事業所もそうですが、そういったお話があれば大変ありがたいと思っております。</p>
小林会長	<p>ソレイユだよりはレーザープリンターですか。</p>
佐藤事務長	<p>印刷ですので、増えるのは実質紙代だけです。</p>
小林会長	<p>企業にアクセスするのか学生さんにアクセスするのか、両方がいいんでしょうけど費用の問題もありますね。</p>
佐藤事務長	<p>29 年度はなんとか両方にアクセスしたいなあと思っております。</p>
原田委員	<p>私も川上さんと同様に 8 ページのアンケートの結果で認知度の低さを強く感じておりましたので、おっしゃったように私どもは 320 人弱になりますが、会報に入れてやれば少し PR できるのかなと感じました。もう一つは 12 ページの登録者数の構成を見ますと、勉強不足で恐縮ですが、勤労青少年ホームという活動ということでどちらかというと 20 代、30 代が中心なのかなと思っておりましたが、40 歳以上もかなりの人数がいらっしゃいます。講座の内容にもかかわってくると思いますが、どういう講座を用意すればいいのか、その辺の検討もしていただければと思います。</p>
佐藤事務長	<p>確かに 40 歳以上という方が多くありますのは、広報さんじょうでお知らせするとどうしても年配の方は良く見ていらっしゃいますし、逆に若い方は見ないということが考えられますので、そういった傾向になっていると思います。また、30 代くらいからずっと利用されている方が 40 歳以上になっても利用されているので、その方々も含まれています。</p> <p>昨年から 35 歳以下という制限は取っ払ってきていますので、増えてもいいと考えています。</p>
小林会長	<p>20 代、30 代は集めるのが難しいですね。むしろそういう意味では、13 ページの下ので、40 歳未満を優先するという文言を取ってもいいんじゃないかと思いますが。この文言を見て 1 人でも 2 人でも手を引っ込める人がいるともったいないなという気がしています。</p>

佐藤事務長	<p>だいたい問い合わせが来るのは40歳以上の方が多くあります。一応優先というのは定員いっぱいになった時に、年配の方を優先して若者が入れないという状態は作りたくないという思いで表記しています。</p>
小林会長	<p>すごく分かります。だからオーバーしている講座はほとんどないわけじゃないですか。できるだけ多くの皆さんから使ってもらいたいと思うので。一方で公民館と何が違うんだという差別化もある意味。</p>
佐藤館長	<p>ほんとに、ハードルを上げたり差別化を重視するわけではないですけども、勤労青少年ホームというからには差別化という基本があって、確かに会長が言われるように、問い合わせの前に躊躇される方が確かにいられるでしょうねえ。</p>
高橋（秀）委員	<p>29年度の活動方針の1番で青少年の居場所づくりの充実ということで、いつでもこちらに来ていいですよということなんですが、Wi-Fi環境とか置く予定とかないんですか。あると調べものをしたりとか仕事でもなんでも調べたりしていれば交流も増えると思いますので、ご検討いただければと思います。</p>
佐藤事務長	<p>一応ソフトバンクが入っているんですが、すべてが利用できるWi-Fiとなるとお金もかかりますし、市全体でそういう検討がされておりますが、他の施設ですが子どもたちがネット環境があるという情報がわかると集まってきて良からぬものを見たりというケースがあるということで、市では躊躇しているということを知っておりますので、当館が率先してではなくて他施設と歩調を合わせないといけないかなと思っております。</p>
高橋（秀）委員	<p>そういう事情があれば難しいですね。お金は月額定額でいくらとなりますが、例えば会員だけの制限を設けるとか、パスワードを付与するだとかいろいろ手は打てると思うので、そこで受講者が利用できるという特典が増えるのでメリットかなと思うので、検討していただければと。もう一つ、12ページの現状維持を目標としていますとありますが、現状維持とは目標ですか人数ですか。</p>
佐藤事務長	<p>人数の現状維持です。29年度の目標数値は3年間の目標値であり、27年度から3年間で一つの登録期間として目標値を掲げています。それまでの実績を踏まえて現状維持から若干上乗せした形で設定しています。ですので、この目標値は最終年度の今年度中に達成したいという数値です。60歳以上の目標値は実績が上回っていますが、以前から特に頑張って目標設定してはいないのでその数値になっています。</p>
渡辺商工課長	<p>ちなみに今ほど佐藤事務長から話がありましたように、市のほうではインバウンドであるとか観光客が見込めるような施設についてはフリーWi-Fiという形で導入を進めてまいります。他方で子どもたちがいろんなゲームで張り付いていて、そこからなかなか離れないとかというケースが間々見受けられるので、粘り強く理解をしていただきながら、基本的にはフリーWi-Fiを進めてまいりたいと考えております。あとは予算との兼ね合いもありますが施設と相談しながら</p>

	ら取り組んでいきます。
高橋（知）委員	二つほどお願いしたいのですが、15 ページの啓発活動なのですが、講座の中でも人気のある講座を除いて定員に満たない講座の2次募集等がありますか。
佐藤事務長	あらためて2次募集という形ではしてなくて、いろんな媒体、例えばソレイユだよりやホームページ、FMなどを利用して常に募集はしています。
高橋（知）委員	それと一日講座体験イベントの開催ということで、有名な方というか例えば燕三条FMのパーソナリティの「さとちん」さんとか体験していただいて情報を拡散してもらえればいいのかということを感じました。
佐藤事務長	参考にさせていただきます。
秋山委員	前回の話の続きになりますが、非常にいいアンケート取っていただきましてありがとうございます。今回、平日と休日の一般貸出の実態を明記していただきましたが、それを見ますと平日も休日も割り返すとほぼ同じくらいの利用者があることがわかりました。もし、特定の講座を休日にやってもらえれば参加したいという方がいるのかどうなのか。それとも休日は全く貸館だけなのか今までのアンケートには触れられたのかどうか。今の段階ではニーズがあるかどうかより体制的に困るからアンケートはしていないということでしょうか。
佐藤事務長	30 ページのアンケート集計結果を見ていただきたいのですが、受講しない理由の中に、土日開催の講座がないと回答をしている方が男女合わせて32人いらっしゃいます。しかしながら他の項目でウエイトを置かなければならない課題がありますので、そちらのほうを優先して検討しているところです。 また、16 ページの土日の利用状況を見てもわかりますが、サークル活動もありますし、定期的に利用している団体もあります。ガラガラなら何か考えるところですが、これほど利用されていると例えばこちらで講座等を入れた場合、お断りする団体も出てきます。せっかく利用してもらっている団体に対してはこれまでどおり利用していただきたいと思っていますので、あえて土日の事業は考えていませんが、イベント的であればその都度検討していきたいと思っています。
秋山委員	わかりました。先ほど3年が経過したということでしたが、指定管理期間は5年ですか。通常であれば3年は中間評価をする期間だと思います。三条市さんはやっていると思いますが、来年度の会議の中でどういう風な内容だったかという中間評価の結果をお示ししてもらって考えはお持ちでしょうか。
渡辺商工課長	特に中間評価という制度を設けていません。そこで我々は中間評価をしてどうこうということは考えてなかったです。我々5年間指定管理をお願いしているわけですが、毎年年度末に報告書をいただいております。そんな中、今年度市の監査対象となりまして監査がございました。そんな中でおおむね良好に運営していただいているという指摘を受けました。ただ1点、危機管理対応マニ

	<p>ユアルの策定だとか消防訓練の実施がされていないという指摘を受けて、こちらでは先日実行されたという報告を受けているところです。ですのでほぼ協定書通りにうまく運営されているのかなと考えています。</p>
小林会長	<p>僕から一つ質問なんですけれども、へえというアンケートが取れたと思いますが、これを受けて29年度の方針なり計画なりをある程度脚色している部分はあると思いますが、特にこれとこれとこれがというコメントをいただけるとわかりやすいかなと思います。</p>
佐藤事務長	<p>27 ページを御覧いただきたいと思いますが、他に受講してみたい講座ということで、ヨガや家庭料理、ピラティスなど人気がありますが、これについては先生とも相談しまして半年ごとで区切るという形に変えております。これは入れ替わりがあるために考えたものです。それから新たに設けてほしい講座の中で、簡単お弁当作り講座とワードエクセル中級講座が高い要望になっていますので、29年度の短期講座として反映しております。</p>
坂田委員	<p>毎回お伺いしているんですが、子どもを連れて利用されている方はどのぐらいいらっしゃるのでしょうか。託児のほうは保育士の方がいなくて難しいということをお伺いしていますが、それは仕方ないとして、子どもを連れて例えばおしゃべりサークルのように子どもを連れて他の方と交流ができる場所があったらいいのではないかなと思うんですけれど、そういうものであれば、大してお金もかからないと思いますし、もしくは例えば一つのきっかけとして読み聞かせ講座みたいなもので、お子さんも一緒でもいいですよという場をあればいいのかなと思います。何か独身や子どもを預けられる方ばかりが対象になっているんじゃないかなということで毎回毎回申し上げているのですが、県外から来た人などお友達がまだできない方のために、ここがそういう場所になったらいいかなと思っていますが、いかがでしょうか。</p>
佐藤事務長	<p>活動方針の中に青少年の居場所づくりの充実というものがあまして、その中でお楽しみサロンの開設というものがございます。羊毛フェルトだとか折り紙だとかハンドメイドという楽しみながら物を作る気軽なサロンでして、実際に子どもさんを連れて参加されている方もいらっしゃいますので、講座とは異なり自由にどうぞという形でざくばらんなサロンになっています。講座も火を使うとかでなければ特に子どもさんはダメですということではありませんので、どうぞ一緒に来てもらって構わないと思っております。</p>
坂田委員	<p>私も折り紙なんかだったらそういうのも可能かなと思ったりしましたが、例えば星印を付けてこの講座は小さいお子さん連れでも可能ですという一言があれば出やすくなるのではないかなと思いますし、来てみようかなという人も増えるのではないかなと思いますので、ぜひその辺もご検討いただければいいと思います。</p>

佐藤事務長	わかりました。その辺のPRで一言添えてということも検討します。
小林会長	難しいですね。伝えるってことは。 それでは3番に入りますが、事務局から任期のこと。
佐藤事務長	議題ではないですが、皆さんの任期は4月30日を以て任期満了となりますので、後日商工課から各団体のほうに推薦依頼が行くと思いますが、宛職の方は別として、なるべく皆様から再任していただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
小林会長	事務局の説明がありましたが、今年度最後の集まりということで、皆さんから何かありますでしょうか。
川上委員	新潟県労働者福祉協議会がソレイユ三条を委託していますが、ほかに県内の勤労青少年ホームで委託しているところはありますか。
佐藤館長	私どもがお受けしているのはここだけです。
小林会長	他のホームの運営はどういう形態になっていますか。
渡辺商工課長	県内の他のホームは公民館と一体となっていてこのように残っているところは数少なく片手くらいと思っています。我々直営でやっていた時は十幾つあったものですが、段々公民館との境がなくなってきていると聞いています。
小林会長	現実の流れですよね。
渡辺商工課長	そんな中、突出してソレイユの利用者は多いと思っております。
佐藤館長	三条の特殊性があつて、事業所も多いですし、先ほどのデータでもありましたように、この地域で働きたい、暮らしたいと基盤をここにという方が県内に比べて多いですよ。歴史もありますし、それこそ上町にあったころから利用者は多くいましたし、また、そのお子さんだとか利用されてそういったことで他よりは利用度は高いと。そうはいつでもいろんな経過の中で認知度がまだまだなので、ずっと待っているだけでなく工夫をして出かけて行って、厳しいですけど利用の度合いを上げていきたいと考えています。
小林会長	はい、ありがとうございます。他になければ28年度第2回の審議会をこれで閉会とさせていただきます。 お疲れさまでした。
	閉会 午後3時10分